

丸協にゆーす

- 丸協topics 「社員研修 第4弾」
- 丸協・物流DXに向けて
- 今、知っておきたい物流topics
「原価管理、できていますか？」



10月17日（土）に入社一年目社員の**社内研修**(2回目)を行いました。

社会人としてのマナーや仕事に対する姿勢などの基礎知識と、丸協の社是・社訓、経営理念を改めて学びました。入社して9か月が経ち、皆さん、少しずつ業務に慣れてきたのではないのでしょうか？

これからも丸協社員の一員として共に働いていきたいと思っております。
以下は社員同士の会話の一部をまとめました。

働いてみてどうか

- ・毎日電話する所に覚えてもらえると嬉しい。人との繋がりをを感じる。
- ・部署の先輩が良い人。 ・良い人が多いので安心して仕事ができる。
- ・忙しいけどやりがいがある。 ・日をまたぐ業務は、次の日まで不安が残る事も…。
- ・物流業界を知らずに入ってきたので、色々な仕事を経験したいと思っている。
- ・自分の仕事が遅れると、現場が止まることもあるので事前準備はしっかりしておく。



人によって業務内容はさまざまですが、皆さんの仕事への熱意が感じられる貴重な時間となりました！！

10月15日に『物流のロボティクス化・自動化・RPA』に関する勉強会を開催致しました。

(株)湯浅コンサルティング様の内田先生、芝田先生を講師にお迎えし、ZOOMにて全国の担当が参加、現場自動化の最新動向や、今後の自動化への動きについて講義頂きました。自動化は労働環境の向上、やりがい創出の効果も生むということで「人には人しかできないことをやっていく」という考えで、この勉強会は、2021年丸協・物流DX元年を目指す、第一歩となりました。

まずは関東の拠点から、スタートアップ会社様より当社の現場に適したロボティクス化への提案を頂き、また様々なロボティクス化活用セミナーなどにも参加し、取組を進めております。

MARUKYO DX



今、知っておきたい物流topics

原価管理、できていますか？

利益を確保し、持続可能、安定的な物流業務を提供するため、原価管理は非常に重要です。国土交通省ではマニュアルを作成し、ホームページ上で無償で公開しています。

物流ABC（活動基準原価計算）を活用すると、「入荷」「梱包」等の活動について原価を算定し、問題がないかチェックすることができます。

「その活動は本当に必要なのか」という検討も重要です。一部の顧客向けに特別に行っているような作業は要注意です。

必要性が不明だとか採算がとれていなかった場合、顧客と情報共有してみましよう。有償化の交渉をすると、作業量を大きく減らせたり、作業自体、不要になることがあります。

「不要な活動をなくす」ことは、大きなコストダウン対策の一つです。

「原価計算の活用に向けて」

原価データの根拠を理解してもらい、燃料費上昇分を運賃に転嫁することができた



原価管理の徹底により運行の効率化や赤字路線の抽出をし、条件の良い業務を選別でき利益を確保することができた



資料：国土交通省